

平成20年1月22日

大阪阿部野橋駅改良工事の着手について

近鉄では、大阪阿部野橋駅および近鉄百貨店阿倍野本店として利用する阿部野橋ターミナルビルの旧館部分について、営業面積日本一の百貨店、国際級ホテル、最先端オフィスを擁する、高さ日本一の超高層複合ビルに建替える「阿部野橋ターミナルビル整備計画」を進めています。

ターミナルビルの工事着手については、今後、各種手続きを経た後に決定しますが、今般、別途大阪阿部野橋駅のコンコースを整備して駅機能を強化するため、駅改良工事に本格着手することとなりましたので、工事の概略についてお知らせします。

1. 工事の目的

阿倍野地区においては、当社の「阿部野橋ターミナルビル整備計画」をはじめとして様々な事業が計画されており、これらにより将来、西改札口コンコースをご利用になるお客さまの増加が予想されます。そこで、地下コンコース階にある東改札口の利用を促進するため、西改札口の東側への移設、ホームの東側への延伸、エスカレーターの増設を行い、東西の改札口利用人員の平準化および駅機能の強化を図ります。

2. 工事計画概要

(1) 西改札口の移設

1階西改札口の位置を橿原神宮前駅方（東側）へ約3.5m移設、あわせて1階出札室や案内所等の駅施設や店舗等を整備してお客さまの利便性向上を図ります。

(2) ホームの延伸

1階西改札口の移設に伴って1～5号線の車止めを東側へ移設するとともに、2・3番線、3・4番線、4・5番線および6番線のホームを橿原神宮前駅方（東側）へ約2.8m延伸します。

(3) エスカレーターの増設

ホーム階と地下コンコース階との上下移動をスムーズにするために、2・3番線、3・4番線および4・5番線のホームでエスカレーターを増設します。

3. 施工期間 平成20年1月～平成21年6月（予定）

なお、西コンコースの吹抜け設置、美装化ならびに中コンコースと東コンコースの駅機能強化工事等については別途計画しており、今後、ターミナルビルの工事にあわせて実施します。

以上

大阪阿部野橋駅改良工事概略図

